2027年3月期 第2四半期
決算ハイライト

ティアック株式会社
https://www.teac.co.jp/jp/
証券コード：6803

2026年11月6日

TEAC
Recording Tomorrow

Copyright 2026 TEAC CORPORATION All Rights Reserved

2027/03期 Q2累計 業績概要

■ 2027/03期 第2四半期累計は前年同期比増収、黒字転換

（百万円）

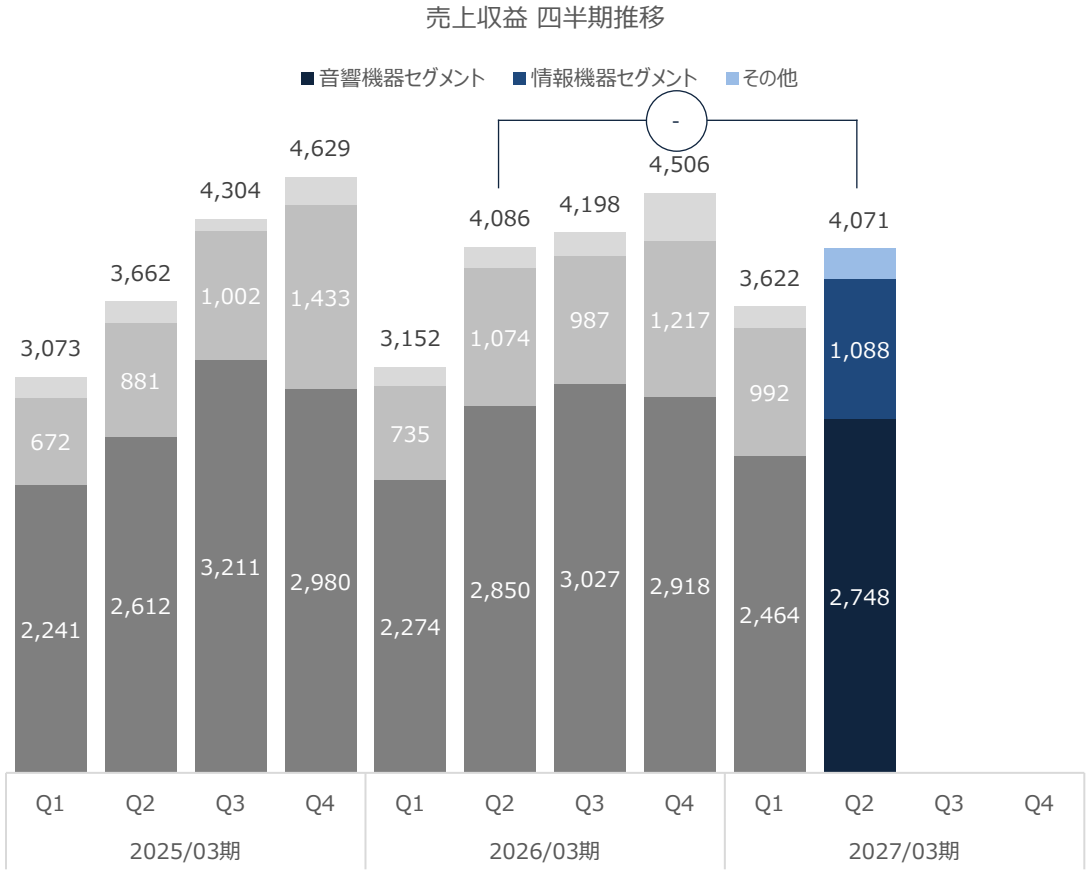
	2026/03期 Q2累計	Q1	Q2	2027/03期 Q2累計	前年同期比	
売上収益	7,238	3,622	4,071	7,693	+ 455 (+ 6.3%)	• 音響機器セグメント・情報機器セグメントともに伸長し前年同期比増収
営業利益（△損失）	△ 226	23	453	476	+ 702 (-)	• 売上総利益率の改善および前期実施の構造改革の効果に米国関税措置に係る還付金184百万円の計上も加わり、黒字転換
営業利益率（%）	△ 3.1%	0.6%	11.1%	6.2%	+ 9.3ppt	
税引前利益（△損失）	△ 241	△ 17	420	403	+ 644 (-)	• 黒字転換
四半期利益（△損失）	△ 202	△ 29	417	388	+ 590 (-)	• 黒字転換
資本合計	3,329			4,371	+ 1,042 (+ 31.3%)	• 前年同期比増
１株当たり親会社所有者帰属持分	115.58円			151.76円	+ 36.18円 (+ 31.3%)	• 前年同期比増
自己資本比率	30.5%			39.1%	+ 8.6ppt	• 前年同期比増
営業キャッシュフロー	△ 34			589	+ 624	• 前年同期比増

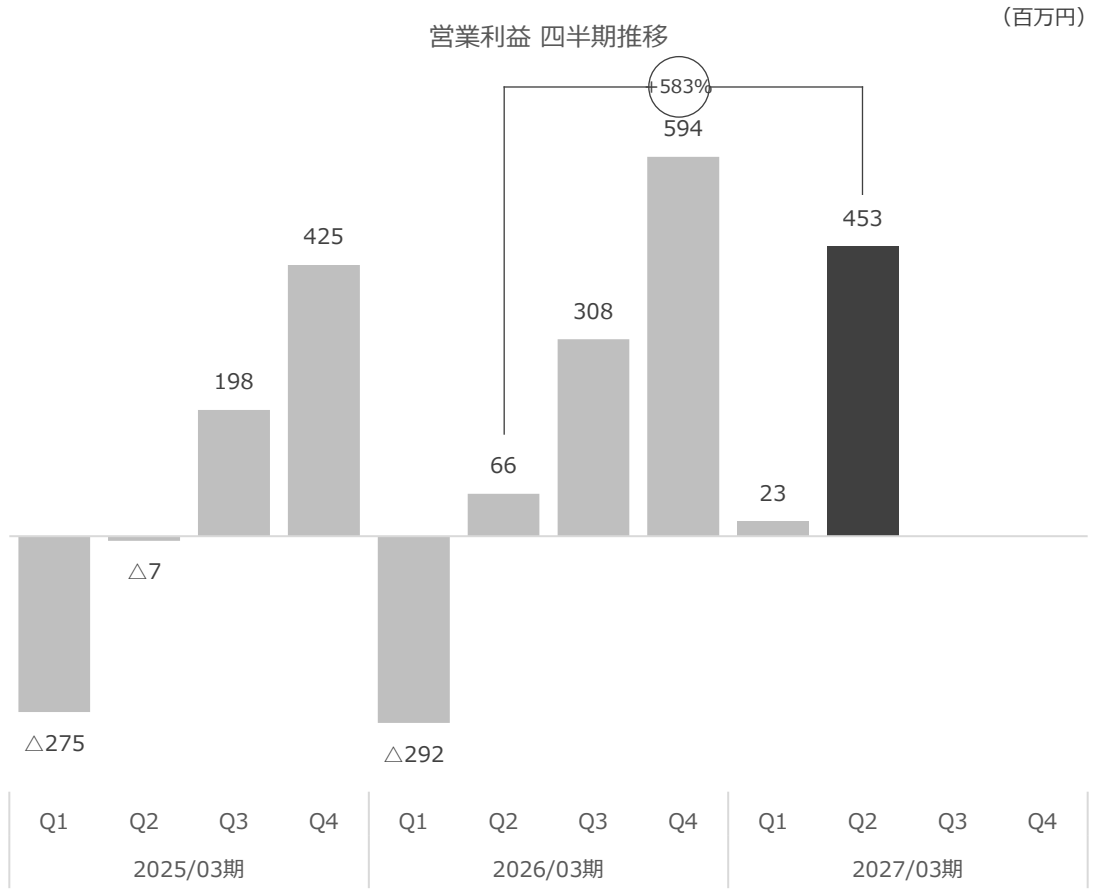
※ 2027/03期より、事業の実態および今後の事業展開をより分かりやすく示すため、事業および関連する製品の呼称の一部を変更いたします。なお、当該変更は表示上の変更であり、業績および事業内容そのものに重要な変更はありません。
新旧呼称の読替えは15ページをご参照ください

Copyright 2026 TEAC CORPORATION All Rights Reserved

2027/03期 Q2単独 セグメント別業績

- Q2単独（7月-9月）売上収益は、音響機器セグメントが減収、情報機器セグメントが増収となり全社では前年同期比横ばい
- 営業利益は、前期計上の構造改革費用分の浮上に加え、売上総利益率の改善および米国関税の還付発現により、前年同期の約7倍の利益を計上

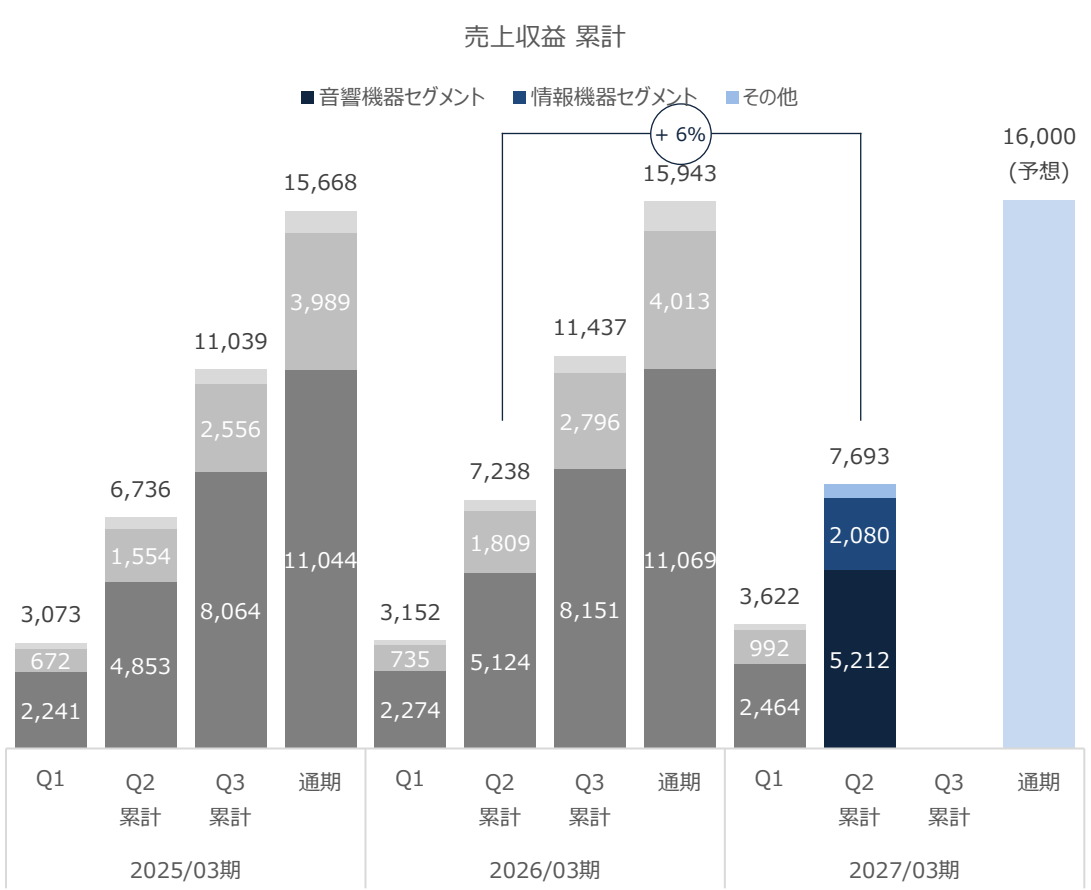


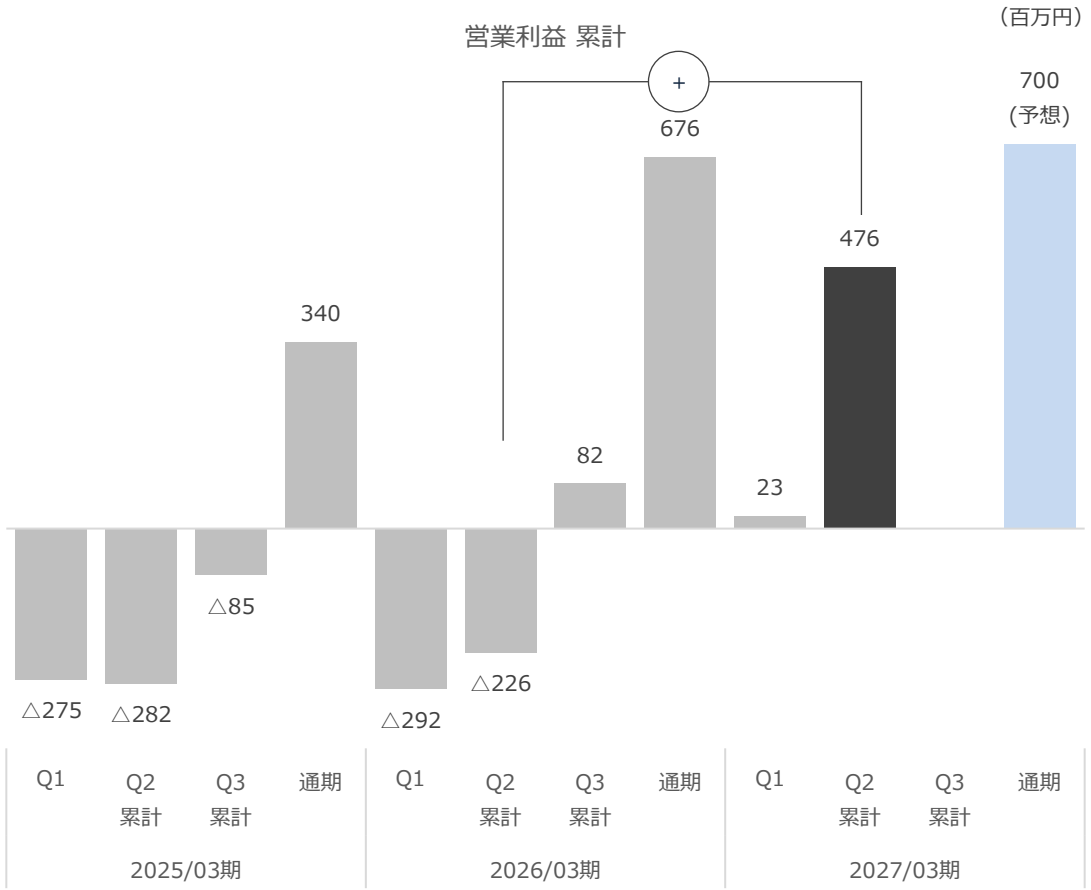


Copyright 2026 TEAC CORPORATION All Rights Reserved

2027/03期 Q2累計 セグメント別業績

- 売上収益は、音響機器セグメント・情報機器セグメントともに伸長し前年同期比6%の増収
- 営業利益は、売上総利益率の改善および前期実施の構造改革の効果にQ2の米国関税措置に係る還付金の計上も加わり、黒字転換





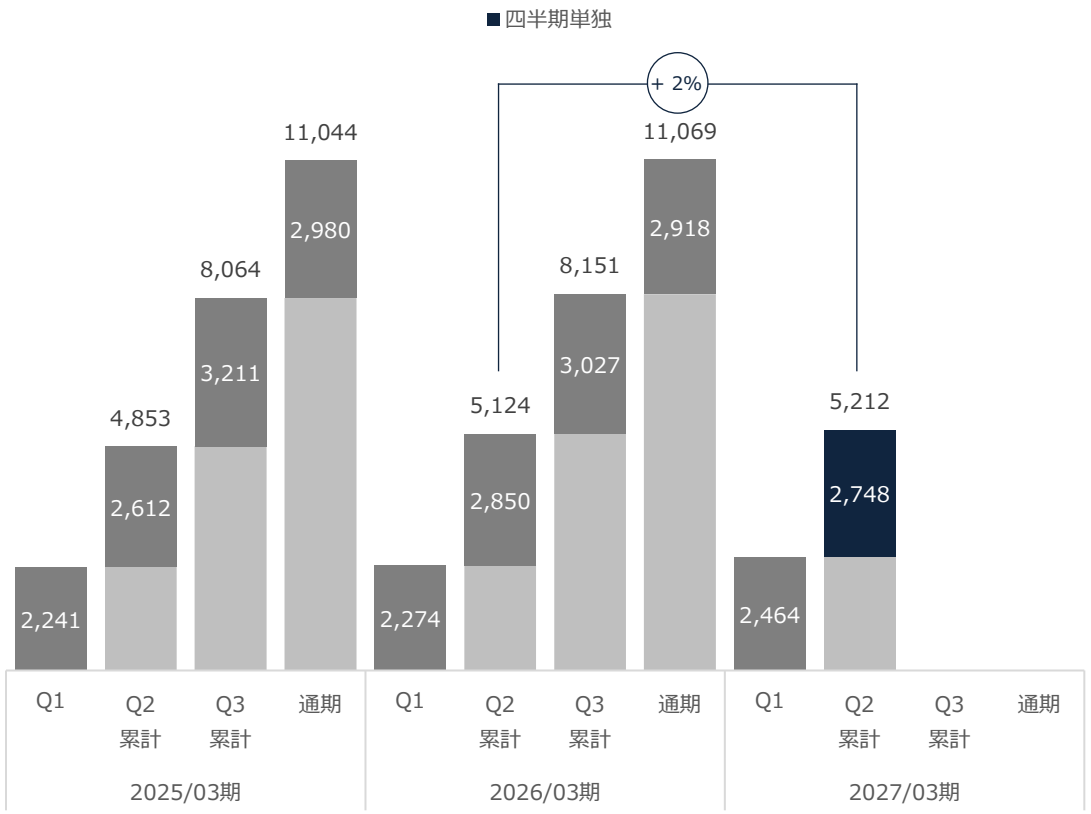
Copyright 2026 TEAC CORPORATION All Rights Reserved

2027/03期 Q2累計 音響機器セグメント業績

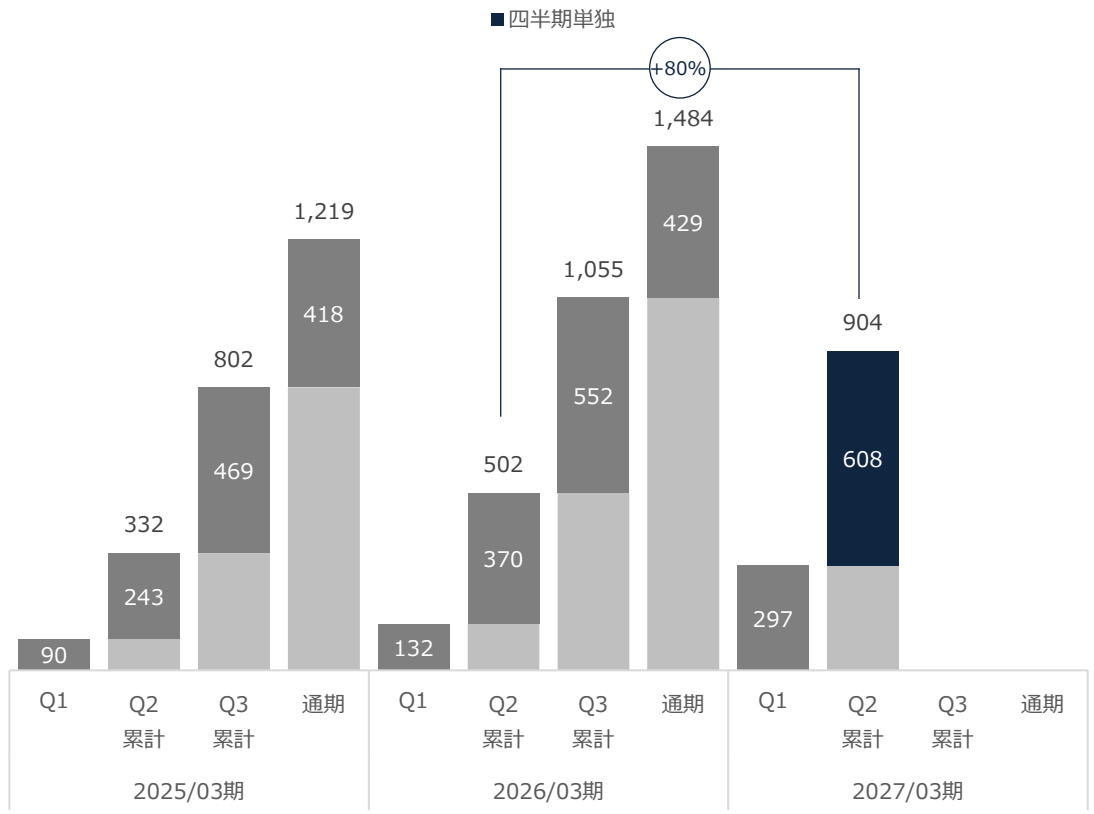
- プレミアムオーディオ機器事業（ESOTERIC、TEAC）は、資金効率の向上を目指す欧州向け廉価版ターンテーブルのライセンス契約への移行により、事業全体では減収。ただし、ESOTERICは増収、TEACもターンテーブルを除く全カテゴリーで前年同期を上回るなど、主要製品の販売は堅調に推移
- 業務用音響機器事業（TASCAM）は、安定した設備需要と提案営業の強化を背景に、放送・設備向け製品が成長を牽引。クリエイター向け中高価格帯製品への需要も堅調に推移

（百万円）

音響機器セグメント 売上収益 累計



音響機器セグメント セグメント利益 累計

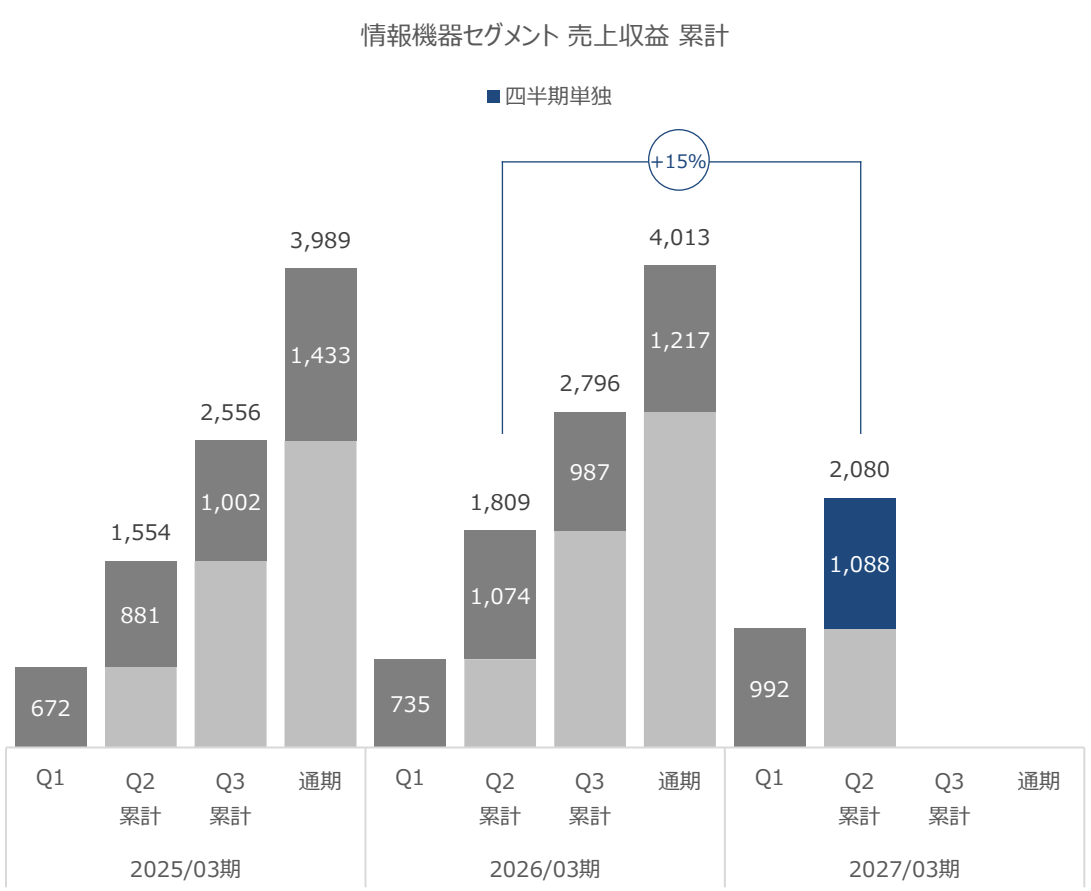


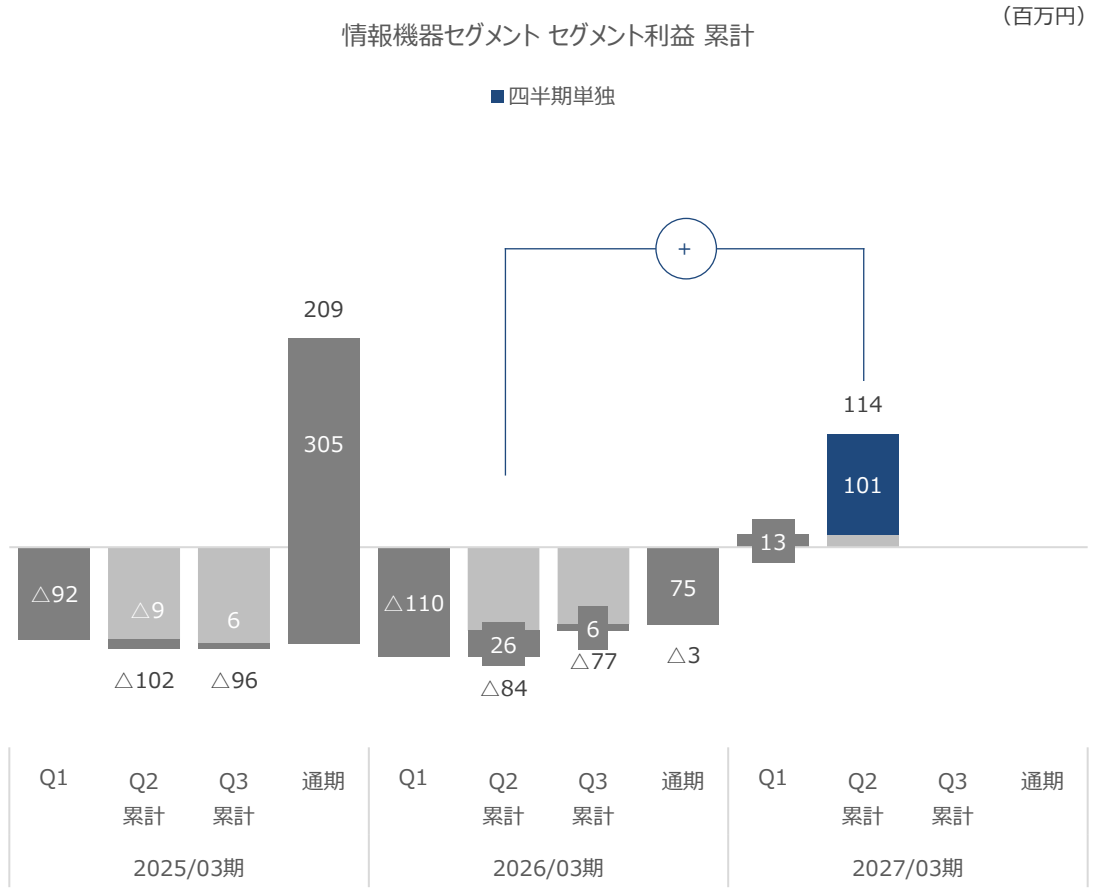
Copyright 2026 TEAC CORPORATION All Rights Reserved

2027/03期 Q2累計 情報機器セグメント業績

- 計測機器事業は、データレコーダー製品がレンタル業界向けおよびシステムインテグレータによる解析用途での採用が増加、センサー・アンプ製品も半導体製造装置メーカー向けが堅調に推移し、増収
- 映像システムソリューション事業のうち医用画像記録再生製品は、消化器内視鏡向け新製品の受注好調およびフラッグシップモデルの手術画像記録用4Kレコーダーの伸長により増収。機内エンターテインメント製品は、保守部品およびサービスの販売に加えバックアップ用途の製品販売が寄与し増収

（百万円）

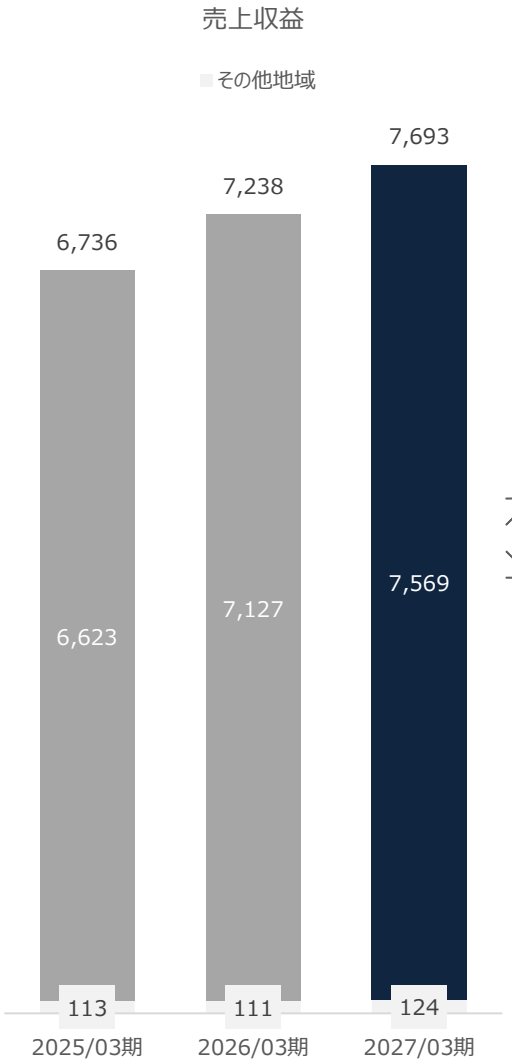


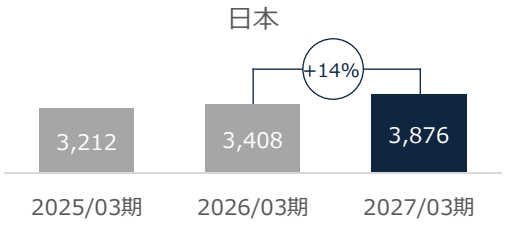


Copyright 2026 TEAC CORPORATION All Rights Reserved

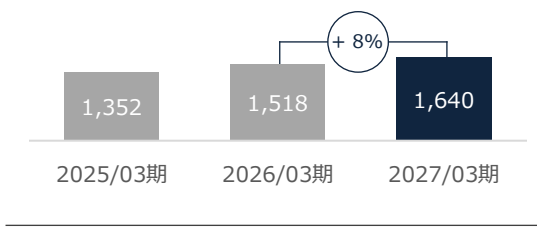
2027/03期 Q2累計 地域別業績

（百万円、＋は前年同期比増収、△は同減収）

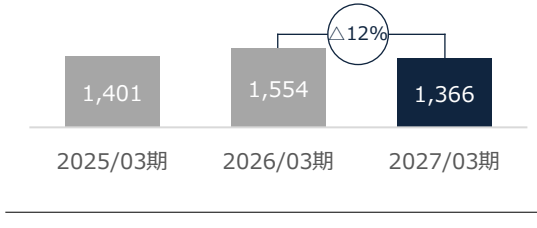




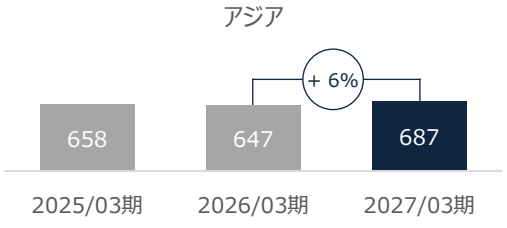
- 音響機器セグメント
  - ＋ プレミアムオーディオ機器事業、業務用音響機器事業（放送・設備向け製品）
  - △ 業務用音響機器事業（クリエイター向け製品）
- 情報機器セグメント
  - ＋ 計測機器事業、映像システムソリューション事業、ITソリューション事業
  - △



- 音響機器セグメント
  - ＋ 業務用音響機器事業（放送・設備向け製品）
  - △ プレミアムオーディオ機器事業、業務用音響機器事業（クリエイター向け製品）
- 情報機器セグメント
  - ＋ 映像システムソリューション事業
  - △ 計測機器事業



- 音響機器セグメント
  - ＋ 業務用音響機器事業（放送・設備向け製品、クリエイター向け製品）
  - △ プレミアムオーディオ機器事業（TEACブランド廉価版ターンテーブルのライセンス契約への移行に因る）
- 情報機器セグメント
  - ＋ 計測機器事業
  - △ 映像システムソリューション事業

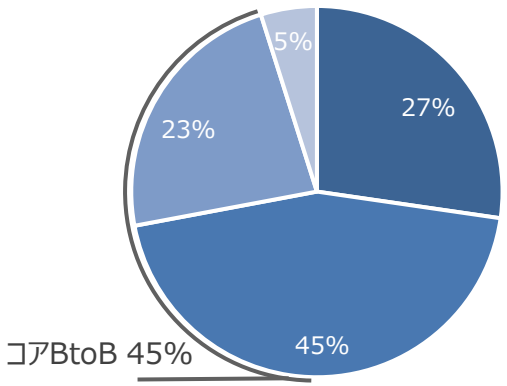
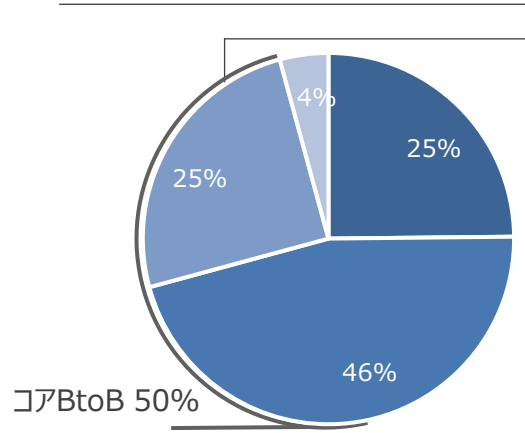
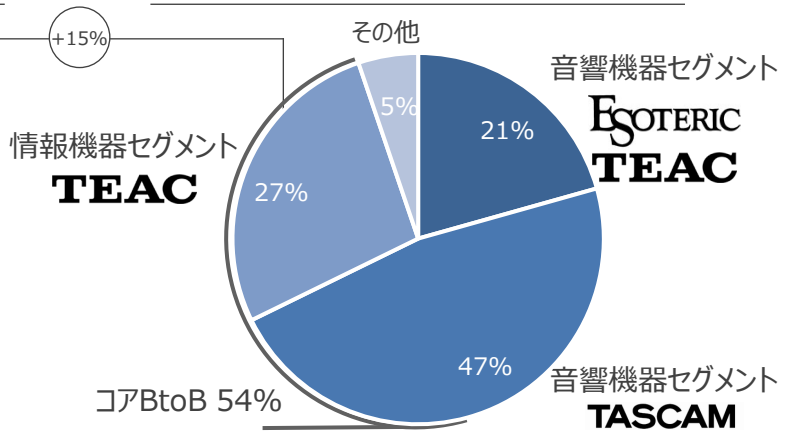
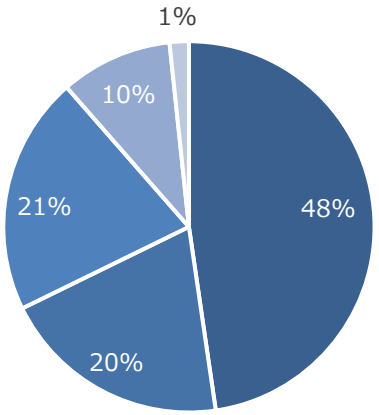
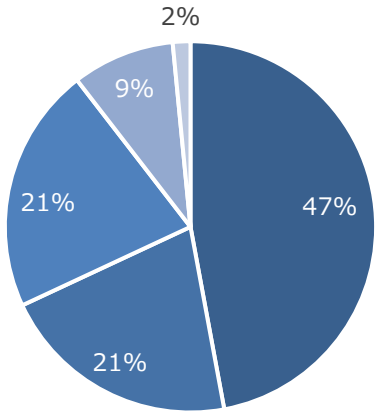
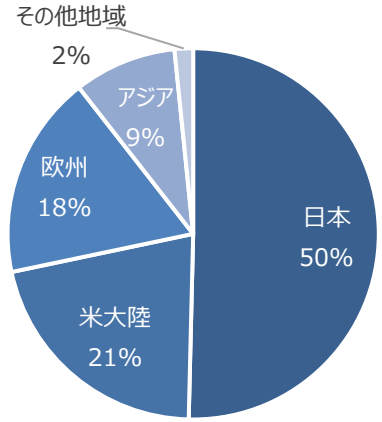


- 音響機器セグメント
  - ＋ プレミアムオーディオ機器事業、業務用音響機器事業（クリエイター向け製品）
  - △ 業務用音響機器事業（放送・設備向け製品）
- 情報機器セグメント
  - ＋ 計測機器事業、映像システムソリューション事業
  - △

Copyright 2026 TEAC CORPORATION All Rights Reserved

2027/03期 Q2累計 セグメント別・地域別構成比

- 業務用音響機器事業と情報機器セグメントの好調を背景に、BtoB売上は前年同期比15%増。売上構成比は54%へ拡大し、BtoBを軸とした事業構成が進展
- プレミアムオーディオ機器事業における一部製品のライセンス契約への移行と他地域の増収により、欧州の売上構成比は21%から18%へ低下

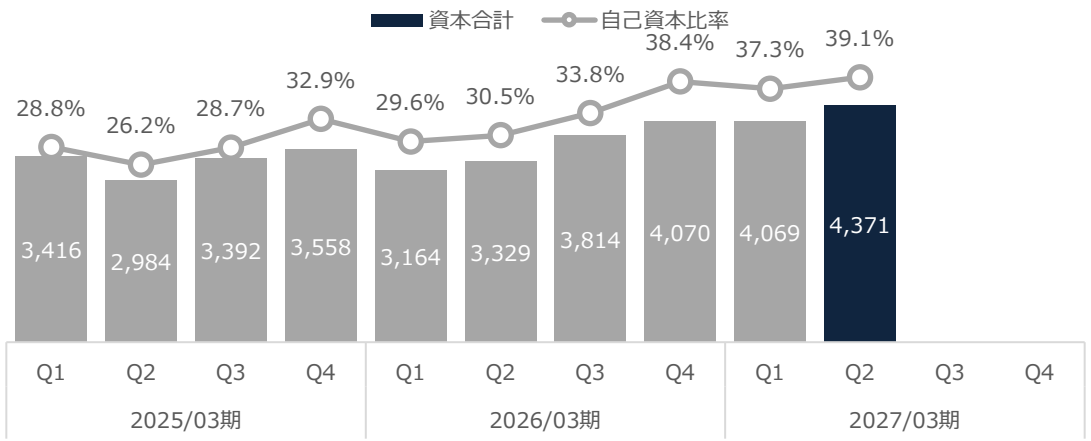
	2025/03期 Q2累計 売上収益 6,736百万円	2026/03期 Q2累計 売上収益 7,238百万円	2027/03期 Q2累計 売上収益 7,693百万円
• セグメント別			
• 地域別			

Copyright 2026 TEAC CORPORATION All Rights Reserved

2027/03期 Q2累計 自己資本比率・キャッシュフロー

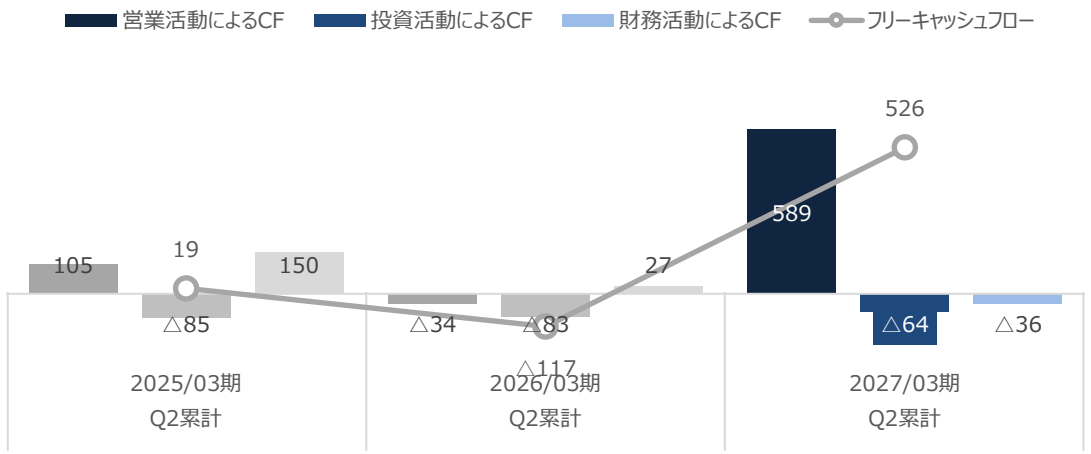
（百万円）

自己資本比率：財務基盤が改善



- 資本合計：前年同期比+1,042百万円（+31.3%）増の4,371百万円
- 自己資本比率：前年同期比+8.6ppt増の39.1%

キャッシュフロー：前年同期のマイナスからプラスへ転換



- 営業キャッシュフロー：前年同期比+624百万円増の589百万円
- フリーキャッシュフロー：前年同期比+643百万円増の526百万円

Copyright 2026 TEAC CORPORATION All Rights Reserved

2027/03期 業績見通し

■ 当期は原材料価格の高騰によるコスト増加等の影響が見込まれるが、当中間連結会計期間において業務用音響機器事業（TASCAMブランド）および情報機器セグメントが好調に推移したことに加え、米国関税措置に係る還付金の計上が業績に寄与したことから、連結業績予想を上方修正

– 上方修正に関する詳細は「米国関税還付金の計上および業績予想の修正に関するお知らせ」（2026年11月6日発表）をご参照ください

（百万円）

	2026/03期	2027/03期 前回予想	増減額	2027/03期 今回予想	前期比	
売上収益	15,943	16,000	-	16,000	+ 57 (+ 0.4%)	• 為替相場、原材料価格の変動、各国の通商政策の動向等に加え、世界経済の先行き不透明感や地政学的リスクの高まりにより市場環境が急変する可能性を踏まえ、売上収益の成長率を抑制した計画
営業利益	676	500	+ 200	700	+ 24 (+ 3.5%)	• 下期のコスト増加等の影響を織り込んだうえで、前期比増益計画
営業利益率（%）	4.2%	3.1%		4.4%	+ 0.1ppt	
税引前利益	612	350	+ 200	550	△ 62 (△ 10.2%)	• 前期比減益計画
親会社の所有者に帰属する当期利益（損失）	578	300	+ 200	500	△ 78 (△ 13.5%)	• 前期比減益計画
資本合計	4,070	-			-	
１株当たり親会社所有者帰属持分	141.32円	-			-	
ROE*	15.2%	-			-	
自己資本比率	38.4%	-			-	
営業キャッシュフロー	1,610	-			-	

＊ 個別開示項目を除いたROEは8.2%

Copyright 2026 TEAC CORPORATION All Rights Reserved

■ 音響機器セグメント プレミアムオーディオ機器事業

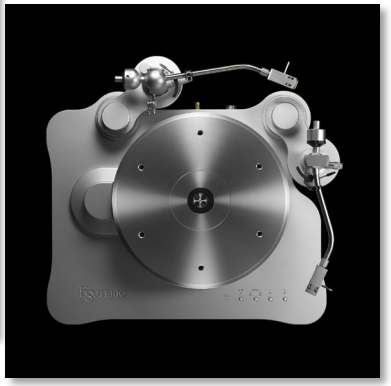
ESOTERIC：新しいアナログターンテーブル『T-01』を2026年8月21日に発表

『T-01』は、上位機種『Grandioso T1』の設計思想を受け継いだアナログターンテーブルです。「Silence. Precision. Motion.」をテーマに掲げ、静粛性、回転精度、駆動力を高める技術を徹底的に追求しました。

特許技術「ESOTERIC MagneDrive」は、磁力による非接触駆動でモーターの振動をプラッターに伝えず、静粛性と高トルクを両立します。「マグネフロート」は、重いプラッターを磁力で支え、軸受けの摩擦を抑えて安定した回転を実現します。外部クロック同期に対応した「Master Sound Discrete Clock」は、正確なモータードライブを支えます。さらに、アルミニウムとMDFによる3層シャーシが、不要な振動を効果的に遮断します。

発表後は国内外から多くの問い合わせがあり、オーディオ専門誌をはじめ、さまざまな媒体で紹介されています。





TEAC：「ポタフェス2026夏 秋葉原」（2026年7月11日・12日）へ出展

東京・秋葉原で開催されたe☆イヤホン主催の「ポタフェス2026夏 秋葉原」に出展しました。

国内最大級のポータブルオーディオイベントとして、20～30代を中心とした幅広い世代のオーディオファンが訪れ、来場者数は延べ約5.7万人に達し、夏のポタフェスではコロナ禍以降最多を記録しました。

当社ブースでは、ハイエンドヘッドホンの性能を引き出す『HA-507』(ヘッドホンアンプ)をはじめ、高音質ストリーミングサービス「Qobuz」を高音質で楽しめる『NT-507T』(ネットワークトランスポート)や『UD-507』(D/Aコンバーター)を使った高音質デモを行いました。

またオーディオテクニカ、finalなどの人気ヘッドホンメーカーのブースにおいても当社製品を使ったデモを展開し、より多くの来場者に試聴いただきました。 今後もホームオーディオの領域にとどまらず、オーディオファン、音楽ファンとの接点を広げていきます。





Copyright 2026 TEAC CORPORATION All Rights Reserved

■ 音響機器セグメント 業務用音響機器事業

- 放送・メディアの国際展示会「IBC 2026」に出展、主力レコーダーの次世代機『SS-R300N』を発表

2026年9月11日～14日にオランダ・アムステルダムで開催された放送・メディア関連の主要国際展示会「IBC 2026」に出展しました。IBCは、放送・映像・メディア業界の最新技術やソリューションが集まる主要展示会の一つで、TASCAMは放送・設備市場に向けた製品・ソリューションを展開しています。出展に合わせ、TASCAMの主力業務用レコーダー『SS-R250N』の次世代機として、ネットワーク機能をはじめ各種新機能を搭載した新製品『SS-R300N』を発表しました。

新中期経営計画「S-10」では、放送・設備向け製品を成長中核カテゴリーと位置付け、ミキサーおよび関連システムを軸とした業務用音響機器事業の成長を推進しており、『SS-R300N』の投入により、システムを構成する録再生機のラインアップを拡充し、放送・設備市場における提案力の強化を図ります。



- 市場ニーズを反映し機能を強化した業務用Bluetooth®レシーバー『RX-BT10MKII』を発売

設備音響システムにBluetooth®オーディオ受信機能を追加できる業務用ステレオBluetooth®オーディオレシーバー『RX-BT10』は、昨年の発売以降、販売が堅調に推移し、需要に対応した増産を進めてきました。

市場での需要を背景に、ユーザーから要望のあったBluetooth®機器名を任意に設定できる機能を新たに搭載した『RX-BT10MKII』を7月に発表しました。 複数のBluetooth®機器を使用する設備環境での利便性を高めるなど、市場ニーズを取り入れた製品改良を通じ、設備向けオーディオ製品のラインアップ強化を進めています。



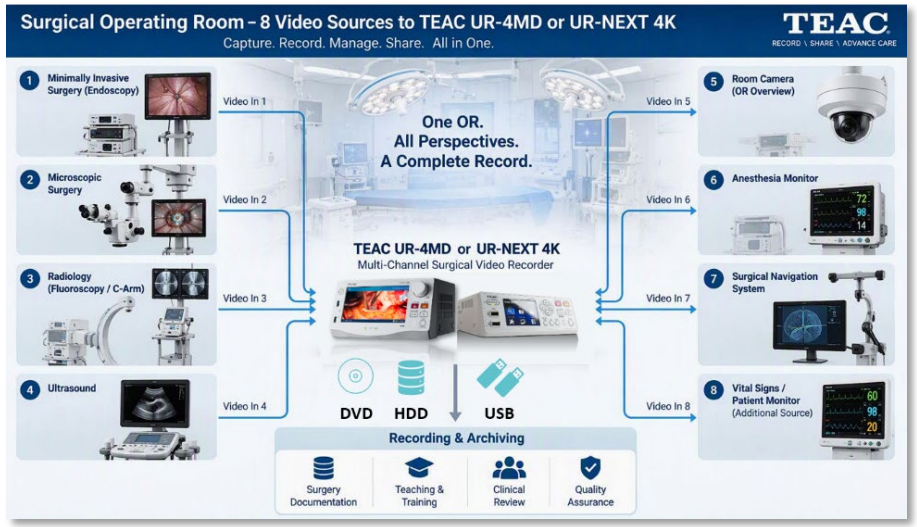
Copyright 2026 TEAC CORPORATION All Rights Reserved

■ 情報機器セグメント 映像システムソリューション事業　医用画像記録再生製品

- 北米市場における複数の大型案件への製品納入を実現

当社は、北米市場において、昨年より提案・商談を重ねてきた複数の大型病院および政府系病院から、計150室を超える手術室向けの大型案件を受注し、納入も概ね完了しました。当社レコーダーの直感的な操作性と高い信頼性に加え、手術室内のさまざまな機器との高い接続性が評価され、当社製品の大きな強みとなっています。

近年、医療技術の高度化や手術室のハイテク化が進む中、当社では、こうした市場環境の変化やニーズに対応した製品開発および機能強化を積極的に進めています。



■ 情報機器セグメント 計測機器事業 センサー・アンプ製品

- 第4回九州半導体産業展に出展

当社は、マリンメッセ福岡（2026年9月30日～10月1日）で開催された、九州地区初の半導体産業に特化した「第4回九州半導体産業展」に初出展しました。

ティアックブースでは、半導体生産設備の荷重制御に使用されるロードセルやデジタル指示計、シグナルコンディショナーなどの計装関連製品を出品しました。半導体製造工程や基板実装工程における具体的な使用事例の紹介を交え、計測機器メーカーとしてお客様の生産設備や品質管理に有用な製品を訴求しました。

今回の出展を通じて、半導体関連企業が集積する九州地区における新たな顧客接点の創出と認知向上を図り、顧客開拓活動を推進しました。



Copyright 2026 TEAC CORPORATION All Rights Reserved

財務データシート（IFRS）

			2025/03期					2026/03期					2027/03期				
（百万円）			Q1	Q2	Q3	Q4		Q1	Q2	Q3	Q4		Q1	Q2	Q3	Q4	
貸借対照表	流動資産		9,302	8,914	9,414	8,568		8,515	8,691	9,053	8,447		8,720	9,090			
		現金及び現金同等物	1,487	1,347	1,291	1,552		1,854	1,464	1,701	2,173		2,442	2,634			
		営業債権及びその他の債権	2,480	2,433	2,903	3,108		2,334	2,855	2,825	2,747		2,281	2,344			
		棚卸資産	5,082	4,925	4,957	3,661		4,134	4,157	4,243	3,275		3,798	3,911			
		その他の流動資産	254	209	263	248		193	215	285	252		199	201			
	非流動資産		2,571	2,490	2,416	2,246		2,181	2,223	2,242	2,146		2,176	2,100			
	資産合計		11,874	11,404	11,831	10,815		10,696	10,914	11,295	10,593		10,895	11,191			
	流動負債		6,051	6,265	6,482	5,557		6,010	6,248	6,259	5,526		5,958	5,911			
		社債及び借入金	2,882	2,985	3,300	2,565		2,823	3,073	3,155	2,567		3,018	2,712			
		リース負債	389	380	386	373		349	346	328	304		355	350			
		営業債務及びその他の債務	1,476	1,412	1,311	1,024		1,425	1,336	1,331	912		1,107	1,369			
		その他の流動負債	1,304	1,488	1,485	1,596		1,413	1,493	1,444	1,744		1,478	1,479			
	非流動負債		2,406	2,155	1,957	1,700		1,522	1,337	1,222	997		868	909			
		社債及び借入金	1,142	1,007	926	797		714	579	497	409		324	471			
		リース負債	710	634	555	477		423	402	406	295		270	194			
		長期未払金	472	428	386	336		303	270	237	203		177	150			
		その他の非流動負債	82	86	90	91		82	85	82	90		97	94			
	負債合計		8,458	8,421	8,439	7,257		7,532	7,585	7,481	6,523		6,826	6,820			
	資本合計		3,416	2,984	3,392	3,558		3,164	3,329	3,814	4,070		4,069	4,371			
		親会社の所有者に帰属する持分合計	3,416	2,984	3,392	3,558		3,164	3,329	3,814	4,070		4,069	4,371			
		非支配持分	0	0	0	0		0	0	0	0		0	0			
	負債及び資本合計		11,874	11,404	11,831	10,815		10,696	10,914	11,295	10,593		10,895	11,191			
	親会社所有者帰属持分比率		28.8%	26.2%	28.7%	32.9%		29.6%	30.5%	33.8%	38.4%		37.3%	39.1%			
損益計算書	売上収益		3,073	3,662	4,304	4,629	15,668	3,152	4,086	4,198	4,506	15,943	3,622	4,071			7,693
		音響機器セグメント	2,241	2,612	3,211	2,980	11,044	2,274	2,850	3,027	2,918	11,069	2,464	2,748			5,212
		情報機器セグメント	672	881	1,002	1,433	3,989	735	1,074	987	1,217	4,013	992	1,088			2,080
		その他	160	169	90	216	635	144	162	184	371	861	166	235			401
	セグメント利益		13	251	455	731	1,450	11	385	555	551	1,502	314	727			1,041
		音響機器セグメント	90	243	469	418	1,219	132	370	552	429	1,484	297	608			904
		情報機器セグメント	△ 92	△ 9	6	305	209	△ 110	26	6	75	△ 3	13	101			114
		その他	16	17	△ 20	8	21	△ 11	△ 12	△ 4	47	21	5	18			23
	個別開示項目前営業利益		△ 275	△ 7	198	425	340	△ 292	124	308	273	413	23	453			476
	個別開示項目		0	0	0	0	0	0	△ 58	0	321	263	0	0			0
	営業利益		△ 275	△ 7	198	425	340	△ 292	66	308	594	676	23	453			476
	税引前利益		△ 398	37	18	402	59	△ 280	39	309	544	612	△ 17	420			403
	親会社の所有者に帰属する当期利益		△ 393	49	13	412	81	△ 264	62	298	482	578	△ 29	417			388
キャッシュフロー	営業活動によるキャッシュフロー		0	104	△ 226	1,300	1,178	312	△ 347	363	1,281	1,610	54	536			589
	投資活動によるキャッシュフロー		△ 54	△ 31	△ 20	△ 9	△ 115	△ 24	△ 59	△ 42	△ 25	△ 150	△ 25	△ 38			△ 64
	財務活動によるキャッシュフロー		284	△ 134	124	△ 980	△ 706	9	18	△ 121	△ 790	△ 883	227	△ 264			△ 36
	フリーキャッシュフロー		△ 54	73	△ 247	1,291	1,064	288	△ 405	321	1,256	1,460	29	497			526

Copyright 2026 TEAC CORPORATION All Rights Reserved

呼称変更

旧呼称（～2026/03期）	新呼称（2027/03期～）
音響機器事業	音響機器セグメント
情報機器事業	情報機器セグメント
プレミアムオーディオ機器	プレミアムオーディオ機器事業
プレミアムオーディオ機器 ESOTERICブランド	プレミアムオーディオ機器事業 ハイエンドオーディオ製品（ESOTERICブランド）
プレミアムオーディオ機器 TEACブランド	プレミアムオーディオ機器事業 プレミアムオーディオ製品（TEACブランド）
音楽制作・業務用オーディオ機器（TASCAMブランド）	業務用音響機器事業（TASCAMブランド）
TASCAMブランドBtoB事業	業務用音響機器事業（TASCAMブランド） 放送・設備向け製品
TASCAMブランドBtoC事業	業務用音響機器事業（TASCAMブランド） クリエイター向け製品
計測機器 データレコーダー	計測機器事業 データレコーダー製品
計測機器 センサーおよびデジタル指示計	計測機器事業 センサー・アンプ製品
医用画像記録再生機器	映像システムソリューション事業 医用画像記録再生製品
機内エンターテインメント機器	映像システムソリューション事業 機内エンターテインメント製品
ソリューションビジネス	ITソリューション事業

Copyright 2026 TEAC CORPORATION All Rights Reserved

この資料に記載されている記述のうち、将来見通しに関する記述は、当社の現時点での入手可能な情報に基づいているため、既知または未知のリスクおよびその他の不確定要因が内在しており、実際の業績はこれらの業績見通しと大幅に異なる可能性があります。実際の業績に対し影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、主要市場（日本、北米、欧州、アジアなど）の経済状況・需要動向、同市場における通商政策他の貿易規制等各種規制、ドル、ユーロ等の対円為替相場の大幅な変動、部品・原材料の供給、物流網の安定性、急激な技術変化、などがありますが、業績に影響を与えうる要素としてはこれらに限るものではありません。

Copyright 2026 TEAC CORPORATION All Rights Reserved